

# 加古川市外国人アンケート結果

## ～加古川市外国人アンケート～

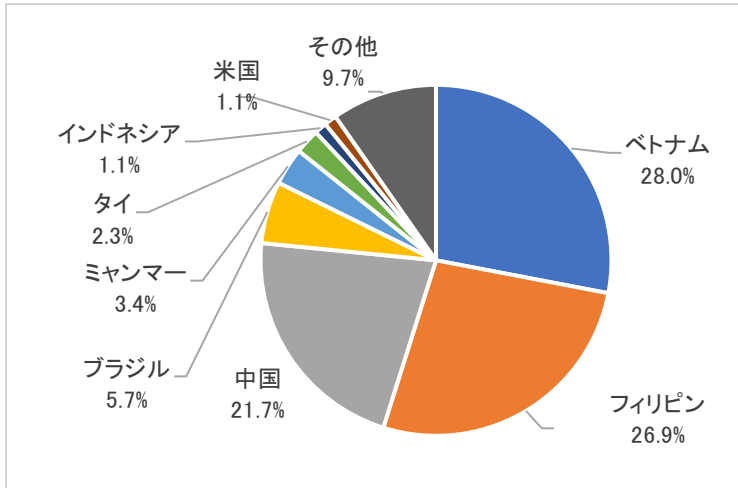
外国人市民が暮らしやすい社会に向けた課題等について、加古川市内で外国人を雇用している企業、兵庫大学、公益財団法人加古川市国際交流協会の協力の下、日本語を学んでいる外国人学習者や家族、その知り合い等を中心として、2021年（令和3年）10月にアンケート調査を実施し、175人から回答を得た。

※実施時期 2021年(令和3年)10月

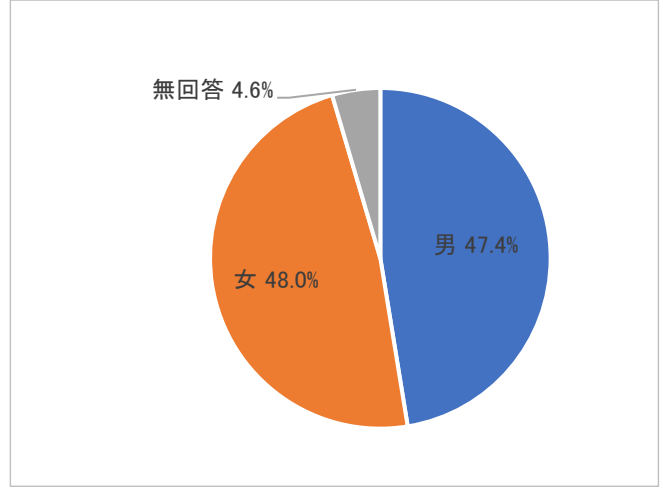
※アンケート用紙は、6言語で表記した。(英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、日本語)

# 1 アンケート回答者の属性

## 【国籍】

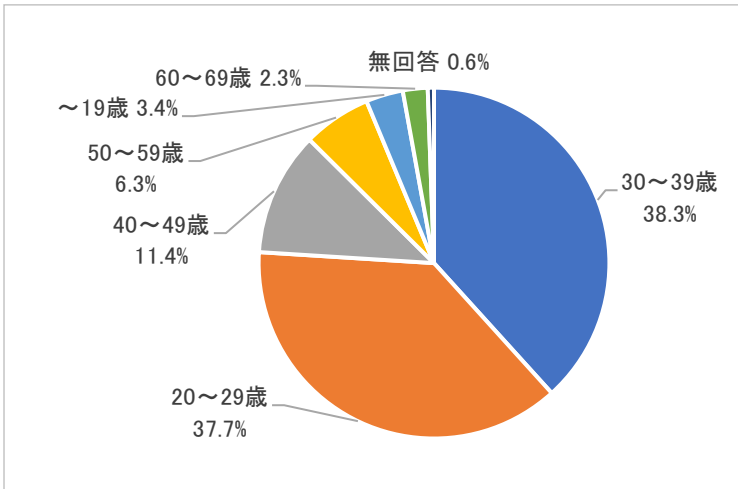


## 【性別】

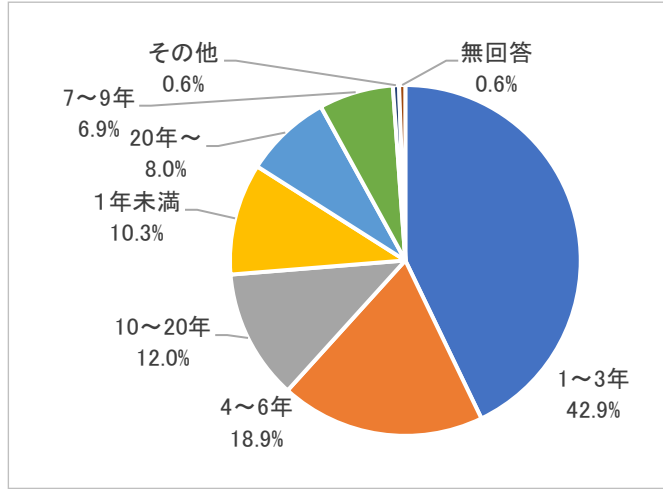


回答者の国籍については、ベトナム・フィリピン・中国・ブラジルの順となっており、これら4か国で82.3%を占めている。なお、回答者国籍は、19ヶ国となっている。

## 【年齢】

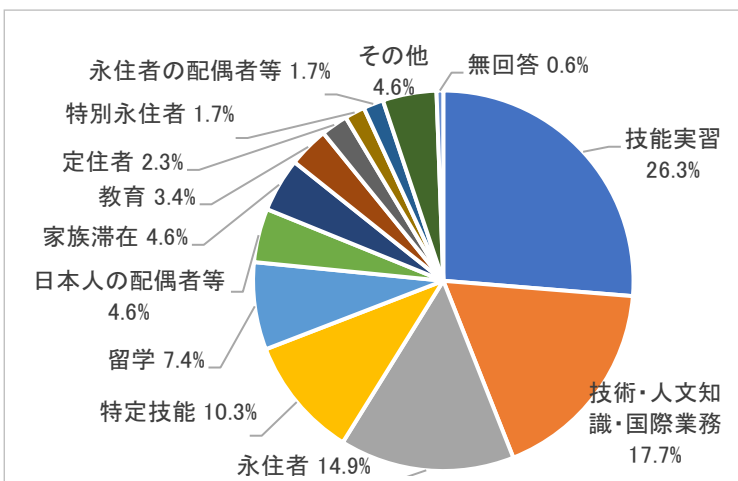


## 【日本での滞在（居住）期間】

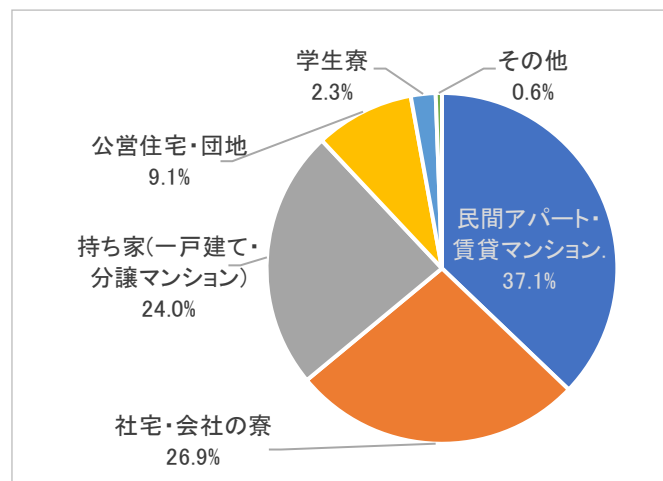


30代と20代で75%以上を占めており、比較的若い世代が多い。また、居住年数については、3年以下が最も多く、6年以内の短期間滞在（居住）者で70%以上を占めている。

## 【現在の在留資格】



## 【居住状態】



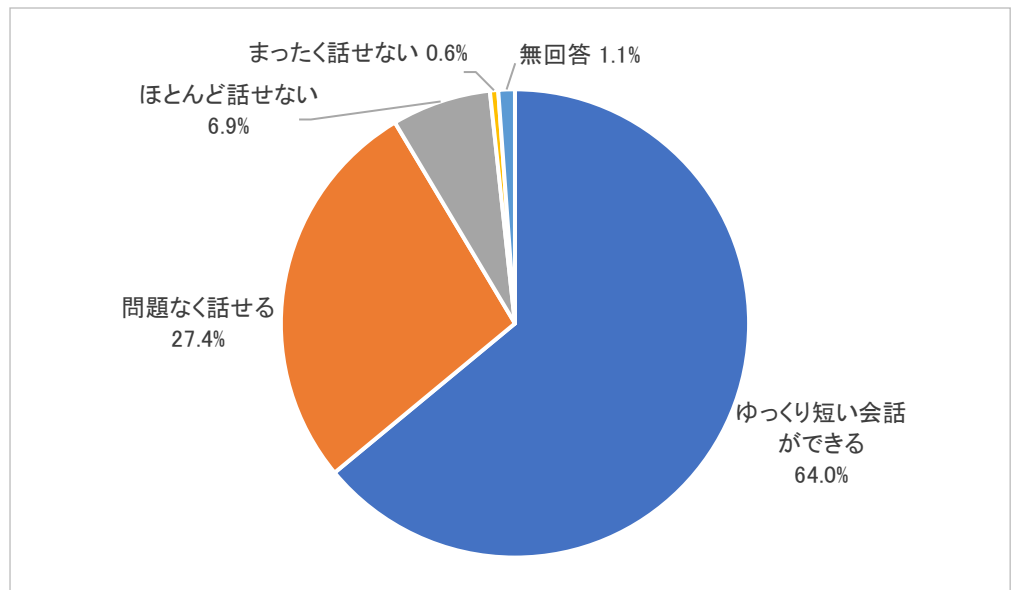
「技能実習」「技術・人文知識・国際業務」「特定技能」「教育」といった就労目的での在留資格保持者が57.7%を占めている。また、住居については、アパート・寮等が多いが、回答者の約1/4が持ち家となっており、一定数の定住傾向が見てとれる。

## 2 日本語について

### ①現在の日本語能力

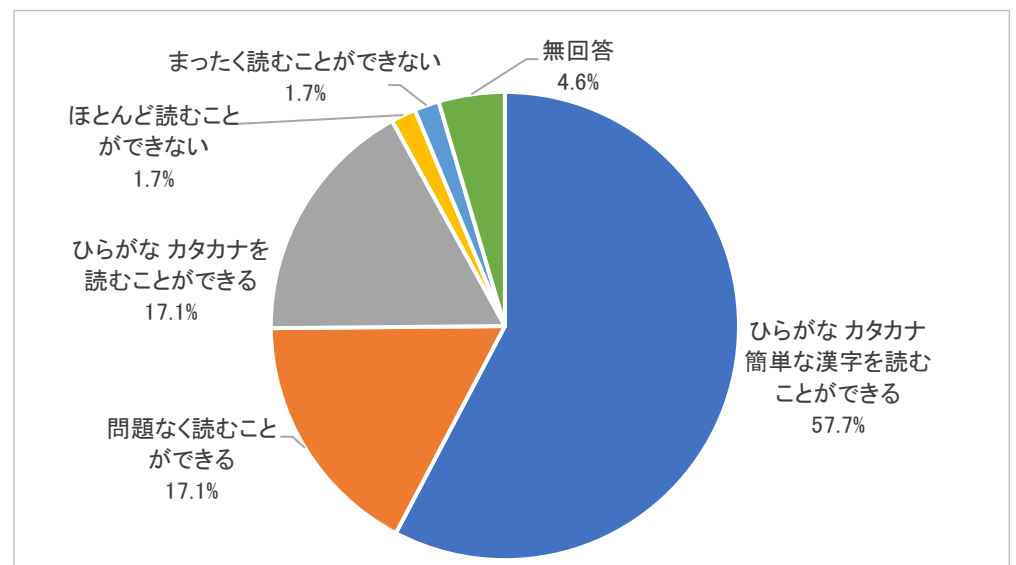
#### ●話すことについて

「問題なく話せる」「ゆっくり短い会話ができる」で90%以上を占めている。一方、「まったく話せない」「ほとんど話せない」との回答が合わせて7.5%あり、日常生活に支障をきたしている可能性がある。

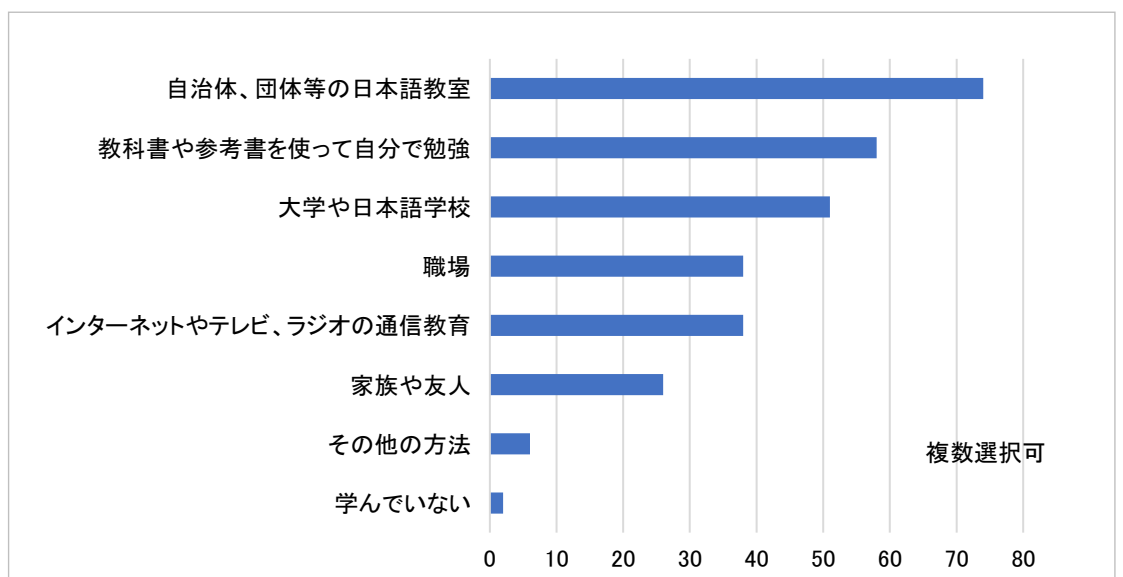


#### ●読むことについて

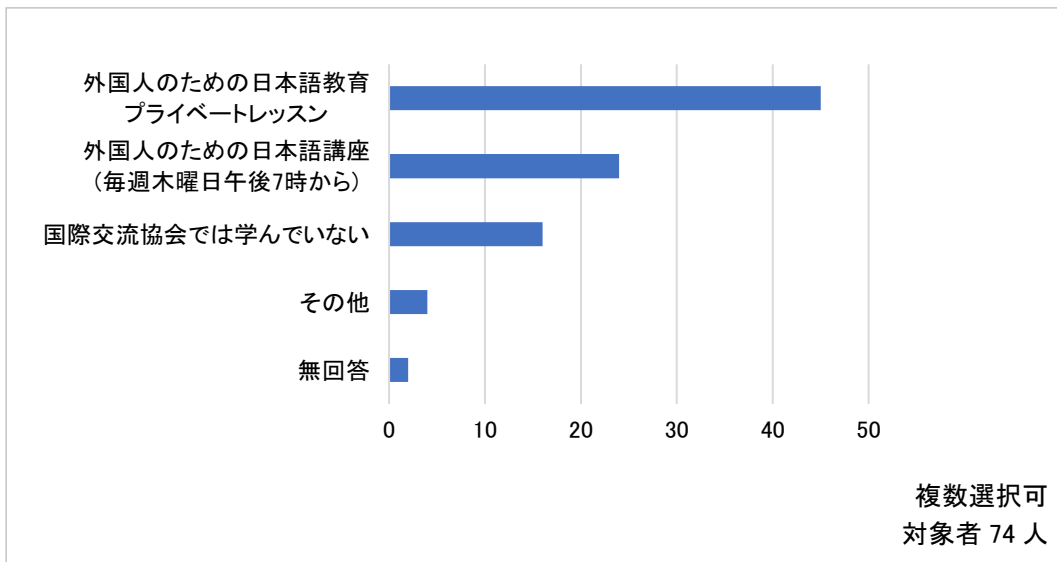
漢字を含め、「問題なく読むことができる」は17.1%で、漢字が多いなど、一般的な文章では多くの外国人が理解できていない状況が考えられる。



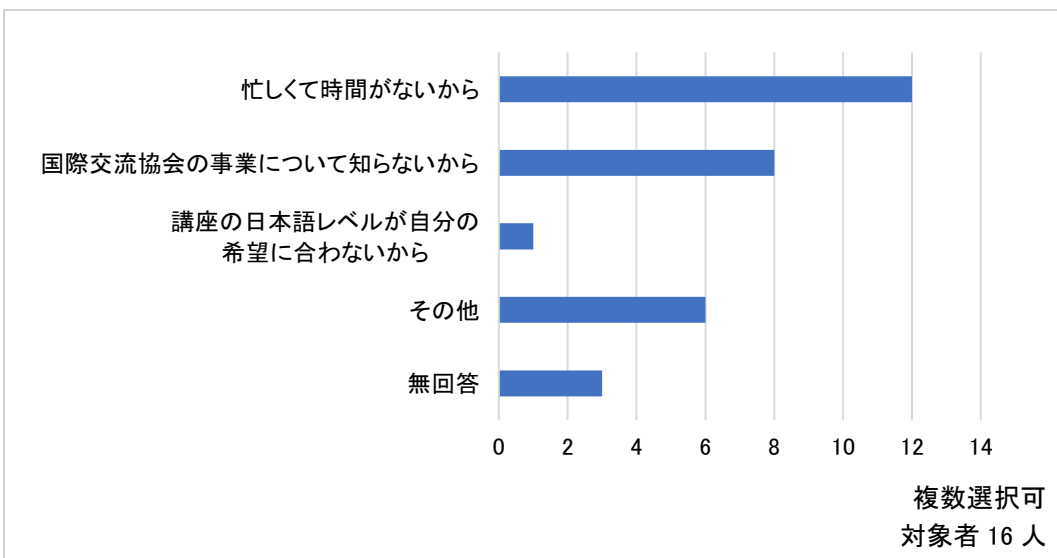
### ②日本語を学んでいる（もしくは学んだ）方法



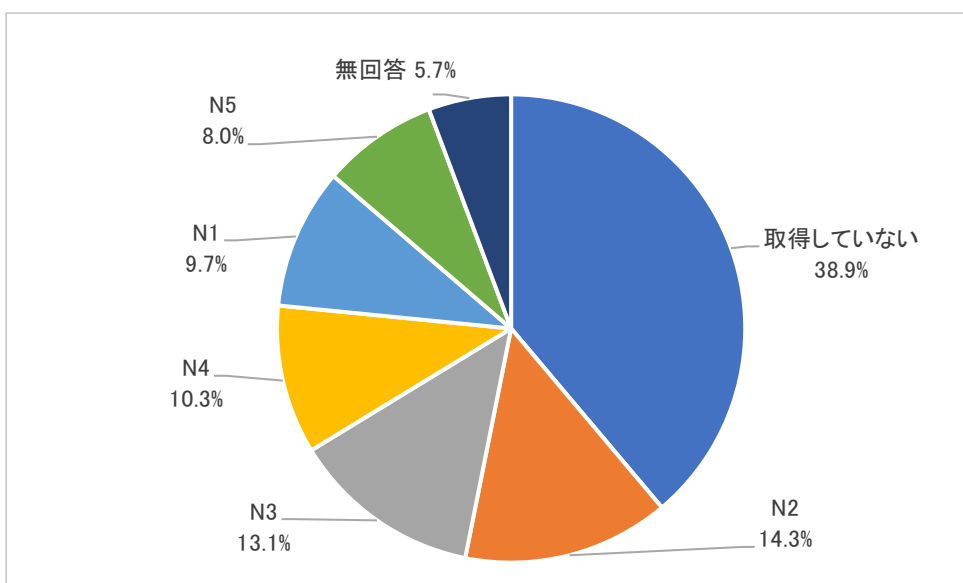
③②で「自治体、団体等の日本語教室」にチェックした人のうち、加古川市国際交流協会で日本語を学んでいる、あるいは、学んでいた人



④③で「国際交流協会では学んでいない」にチェックした人が加古川市国際交流協会で日本語を学んでいない理由

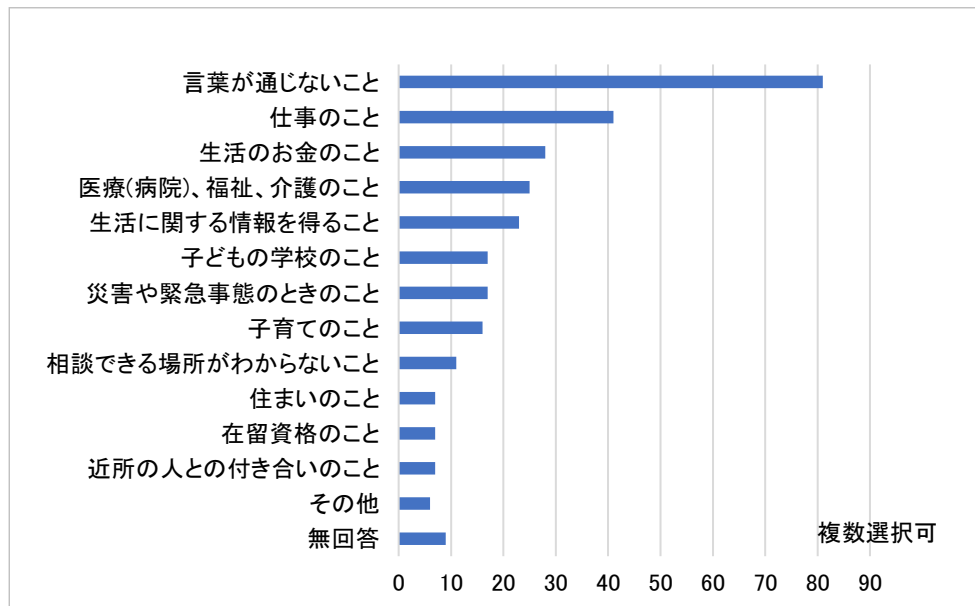


⑤日本語能力試験（JLPT）の取得状況



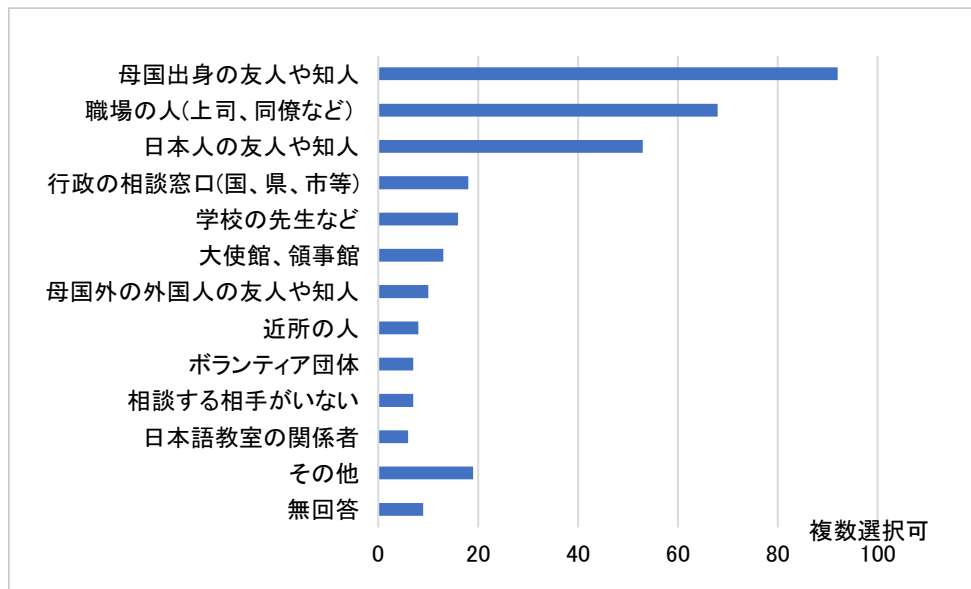
### 3 日常生活

#### ① 日常生活で困っていることや不安に思っていること



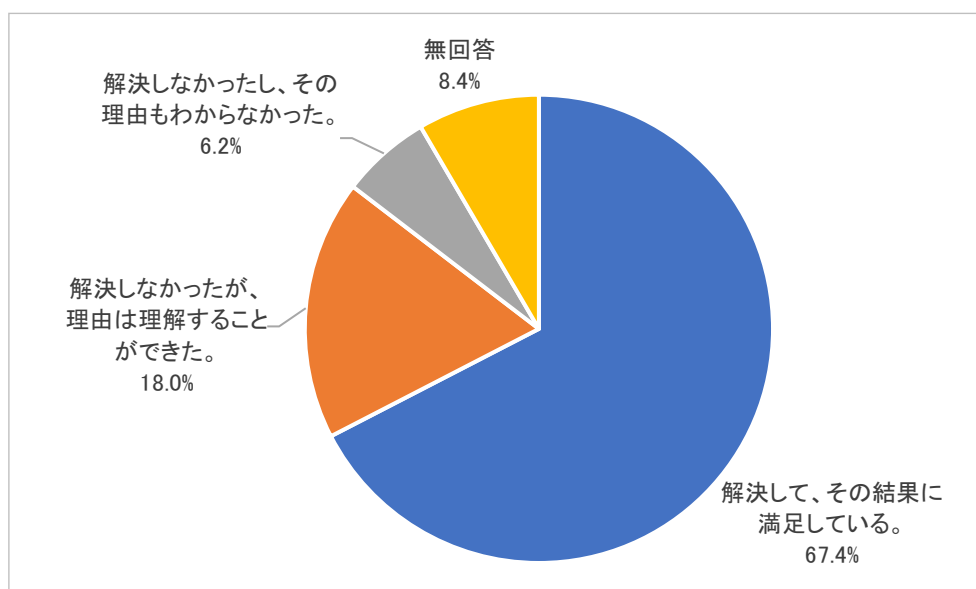
日常生活で困っていることや不安に思っていることで「言葉が通じないこと」をあげている人が全体の半数近くおり、日本語ができないことで生活に支障をきたしていることが伺える。

#### ② 日常生活で困ったときの相談相手



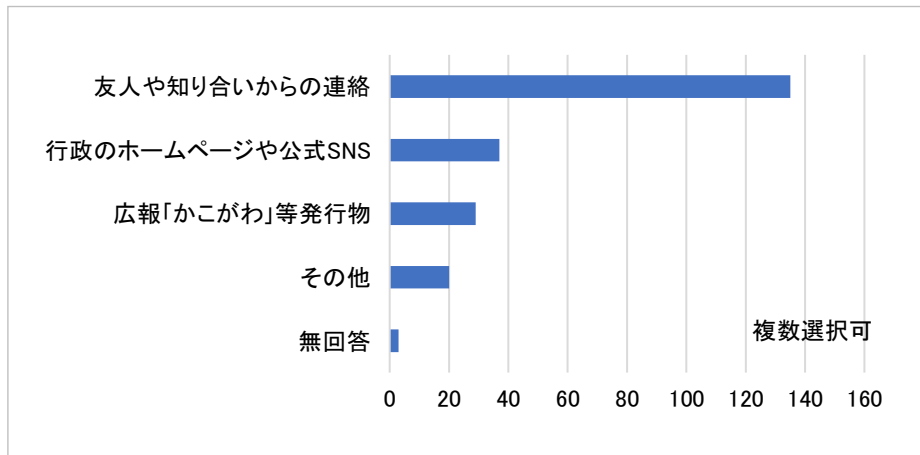
半数以上の人々が困った時の相談相手として母国出身の友人や知人と答えており、ここでも日本語ができないことで相談相手が限定的となっていると思われる。

#### ③ 困りごとがあった時に相談した結果に対する満足度



困りごとがあったが解決しなかったことが全体の1/4程度あり、また6.2%は、対応する手立てが全くない状態にあることがわかる。

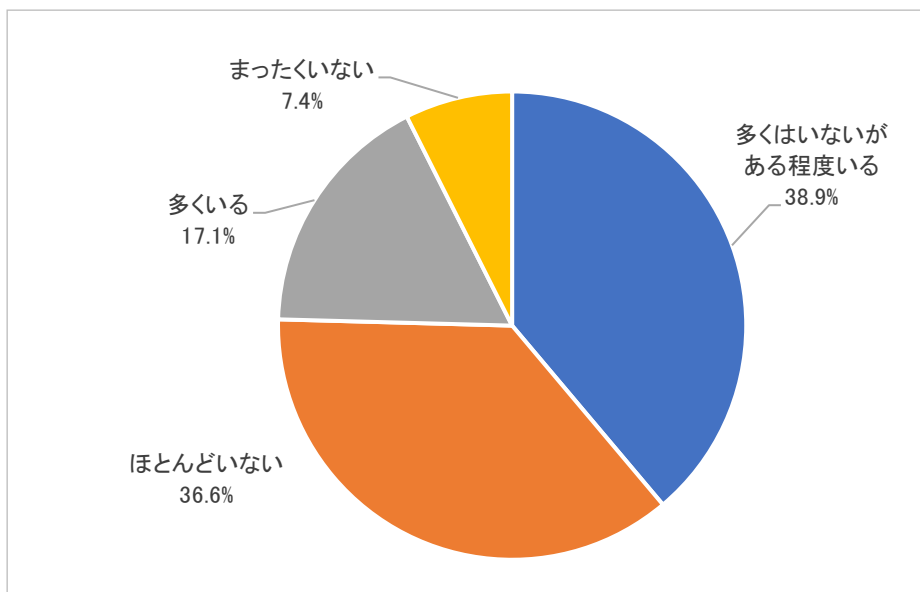
④日常生活に必要な情報の取得方法



必要な情報は、友人、知り合いからの連絡に頼っており、行政情報が外国人にはいきとどいていない状況が見てとれる。

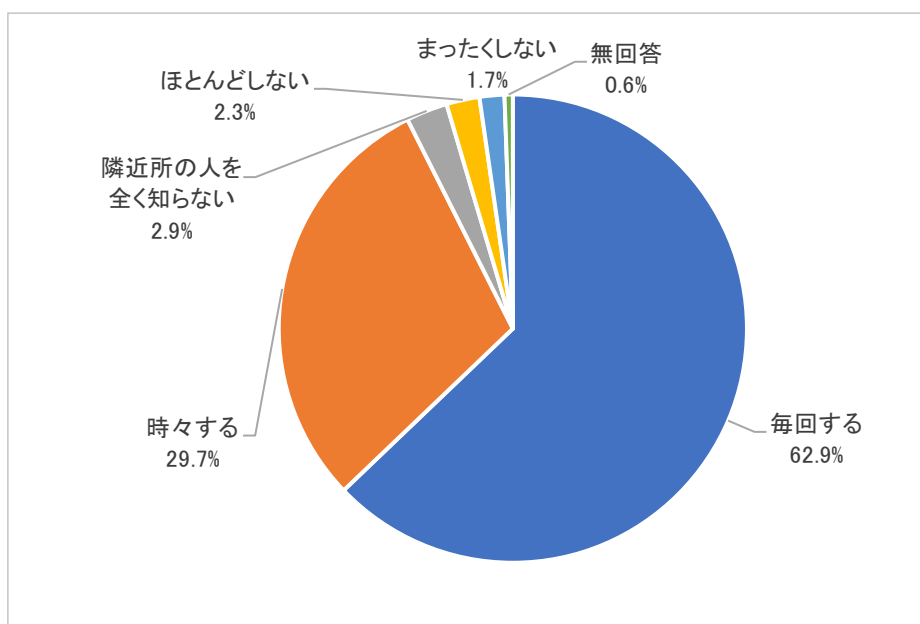
4 地域でのつながり

①日本人の友達や知り合いの有無



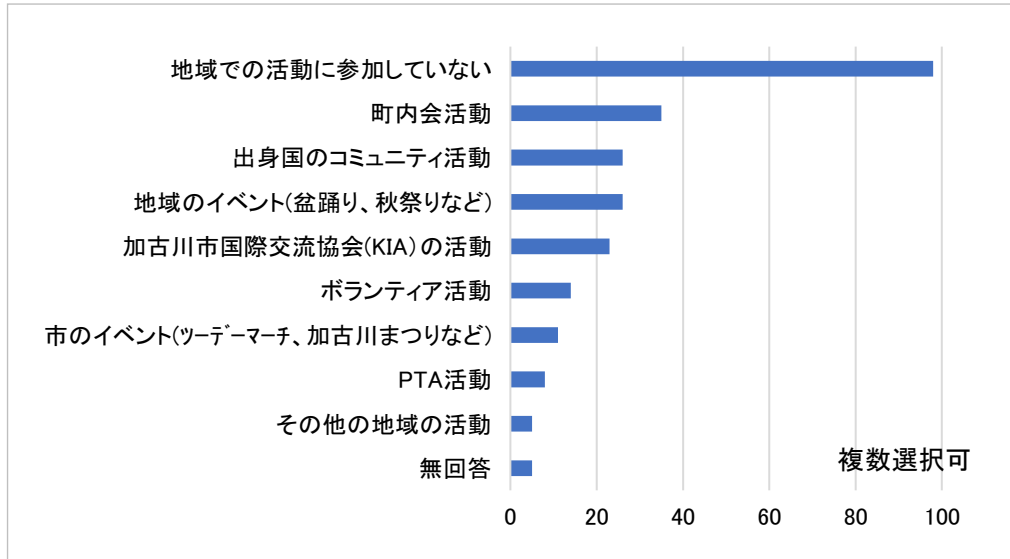
「多くいる」「多くはないがある程度いる」を合わせると50%を超えている一方、「ほとんどいない」「まったくいない」と答えている人も40%を超えている。

②近所の人と会った時にあいさつをする頻度



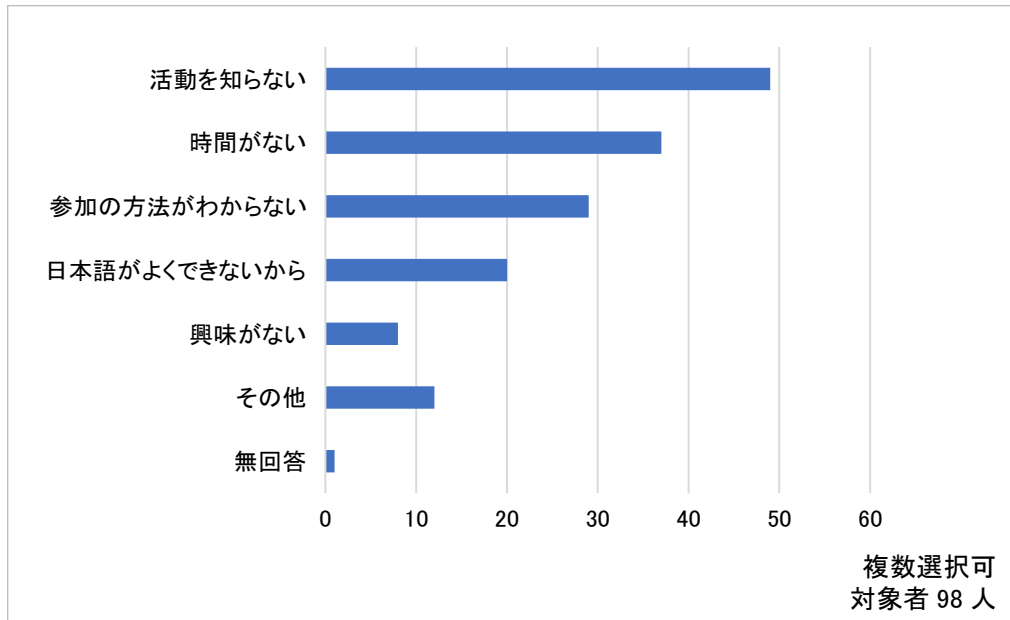
「毎回する」「時々する」を合わせると92.6%となり、ほとんどの人が知り合いには挨拶をしており、コミュニケーションを取りたい意識はあるものの、前問①での回答にあるように、人間的関係につながっていない状況が見てとれる。

### ③地域活動やイベントへの参加



近所（日本人）の知り合いと挨拶はほとんどのひとが交わすものの、地域活動やイベントには参加していない人が半数を超えており、今後、外国人をいかに巻き込んでいくかが課題である。

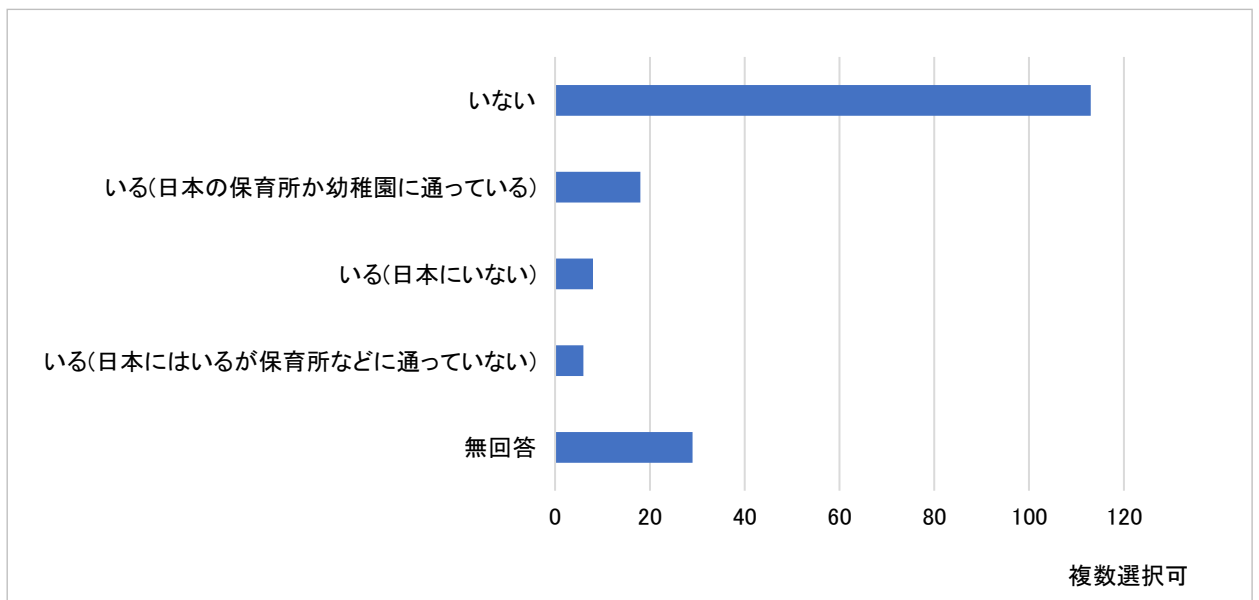
### ④③で地域での活動に参加していないにチェックした人が地域活動に参加していない理由



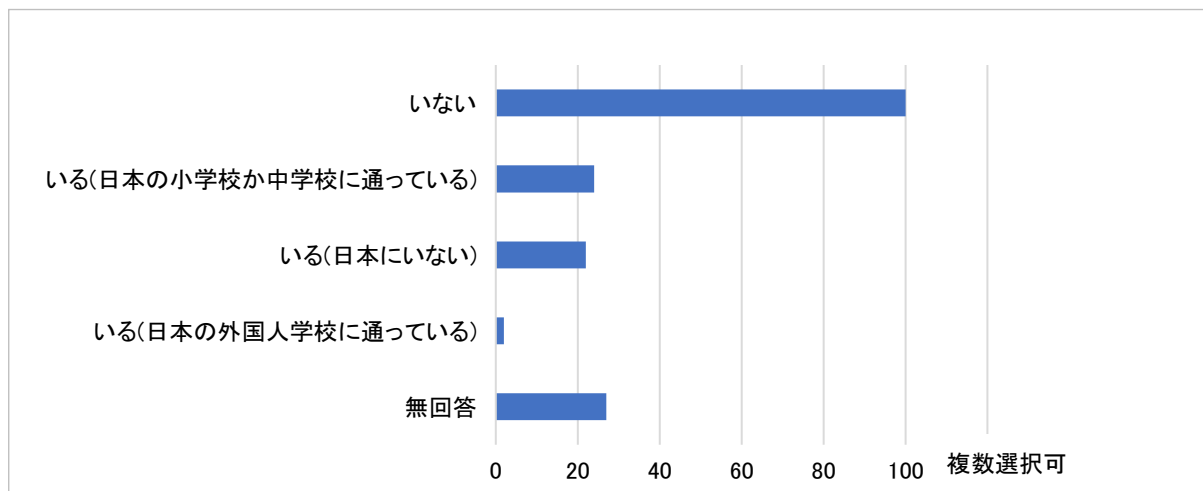
地域活動に参加していない理由の多くが、活動を知らない、参加の方法がわからないなど、内容やアクセスの方法など、情報の取得に課題があることがわかる。

## 5 子育て・教育

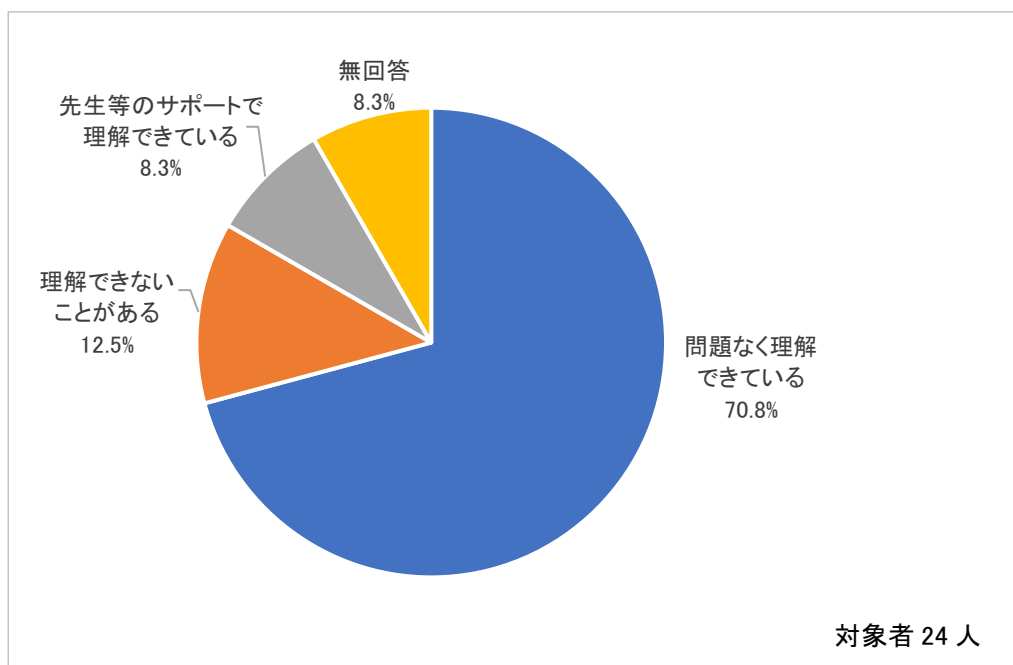
### ①0歳～5歳の子どもの所在



## ②6歳～14歳の子どもの所在

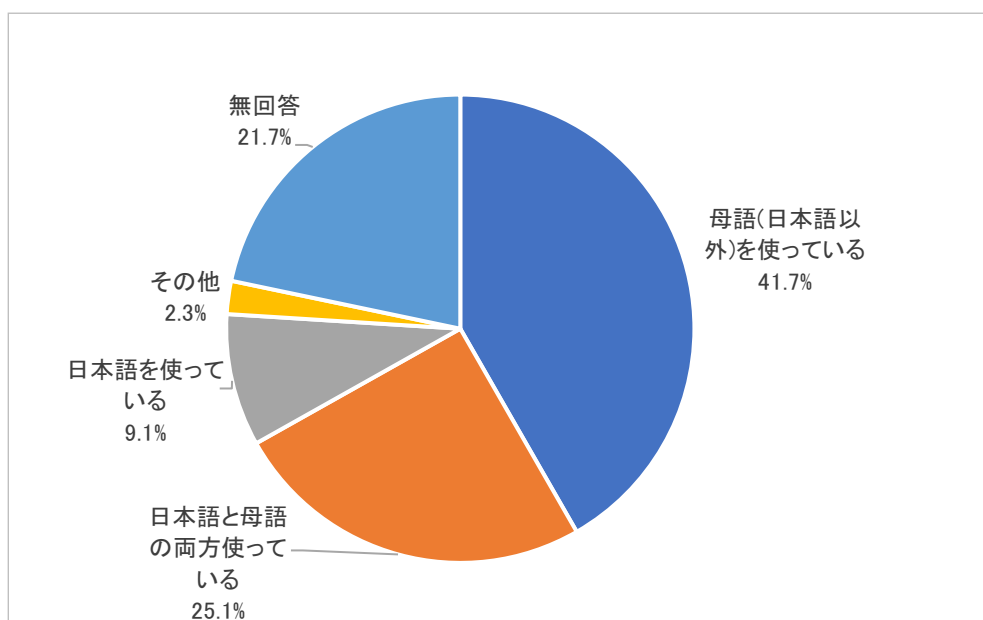


## ③②で「いる（日本の小学校か中学校に通っている）」にチェックした人の子どもの日本語での授業の理解力



今回のアンケートでは子どもがいない人が大半であったため、困っている様子はそれほど顕在化していないが、家族帯同者が増えれば日本語ができないことによる問題が増加すると思われる。

## ④家庭内での主な使用言語

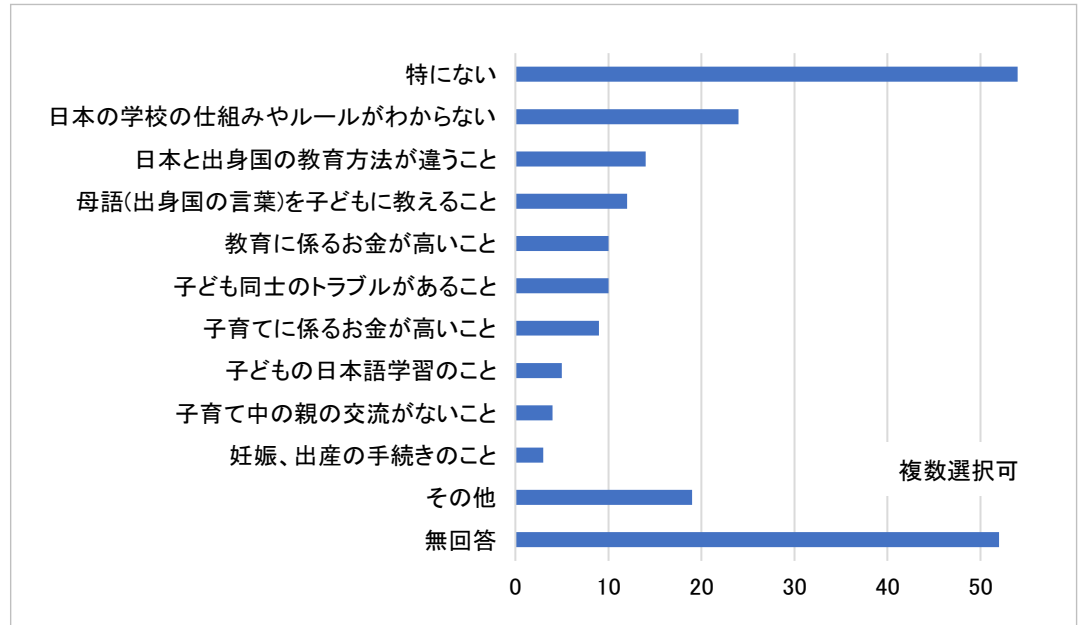


日本語以外の母語を使っている家庭が多いものの、日本語と母語、日本語を使っていると回答した家庭も約1/3あり、家庭内でのコミュニケーション方法も多様化しており、課題となっていることが考えられる。



## ⑤子育て・教育で困ったこと

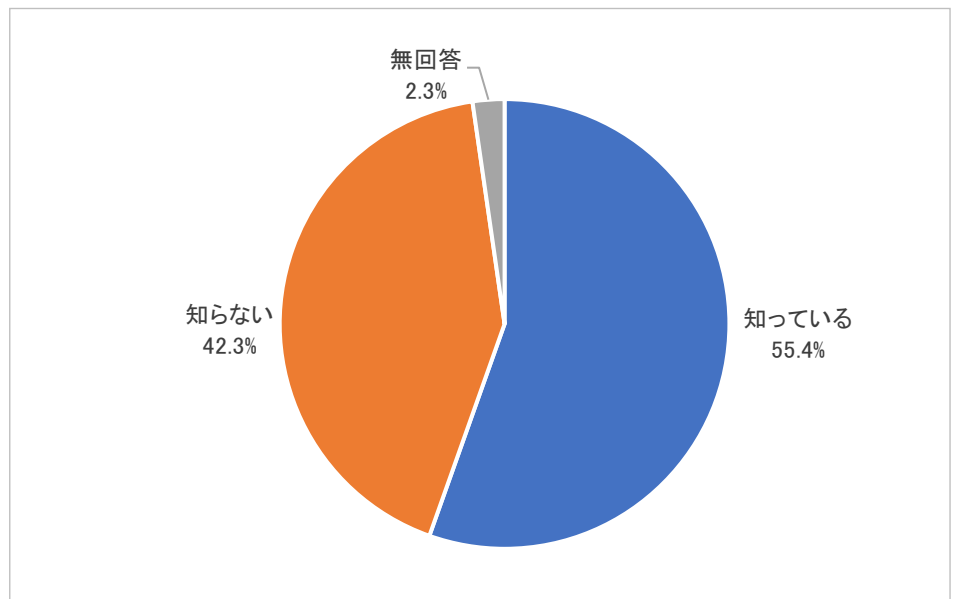
子育て、教育での困ったことについては、様々なものがあるが、母語を子どもに教えることと回答した人も一定数いる。



## 6 災害時

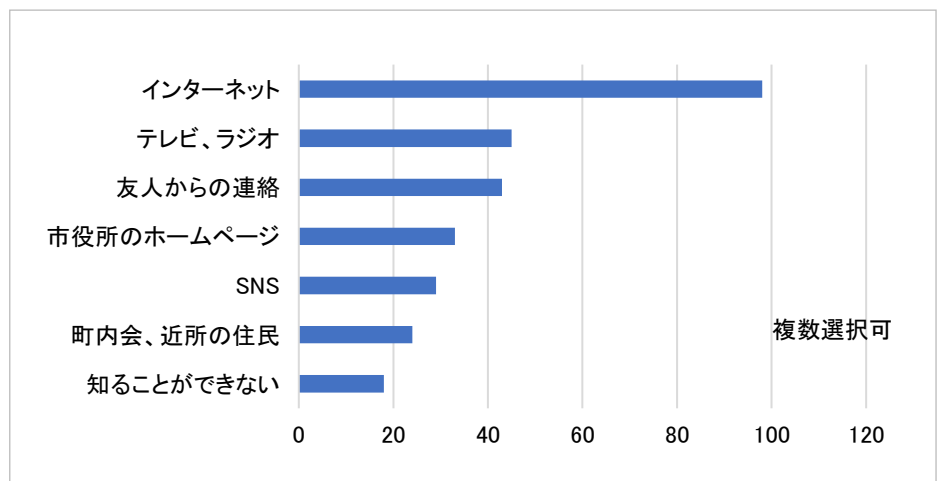
### ①避難場所の認知度

避難所がどこにあるか知らないと答えた人が40%以上おり、今後、外国人の防災意識の向上を図っていく必要がある。

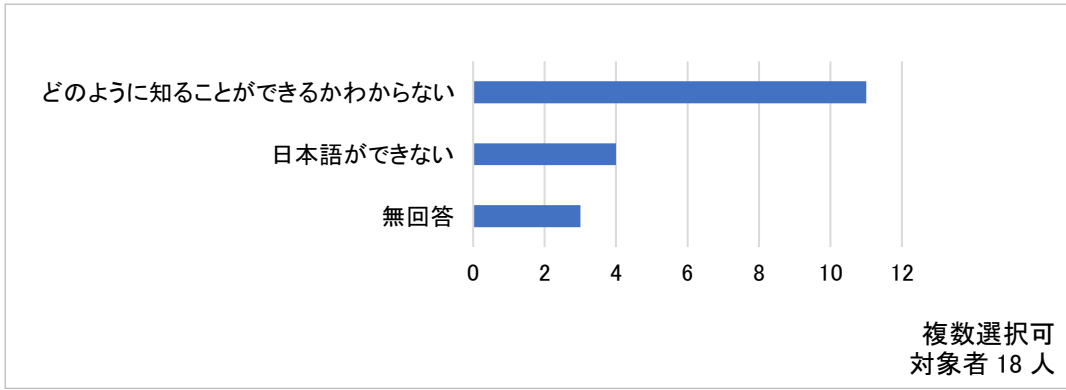


### ②災害時の情報取得方法

情報源として手軽に情報を取得できるインターネットを利用して人が半数を超えており、SNSも含め情報を取得するためのツールとして根付いていると言える。また、災害時の情報について知ることができないと回答した人も一定数いた。

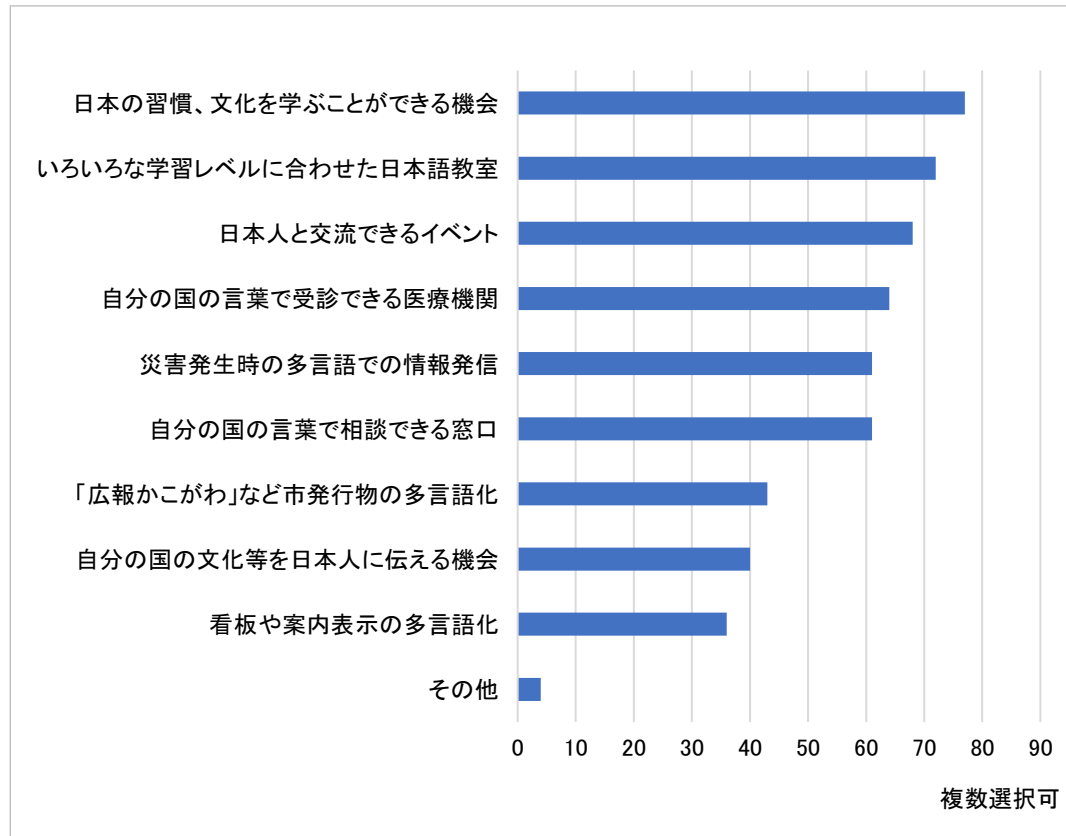


③②で「知ることができない」にチェックした人の知ることができない理由



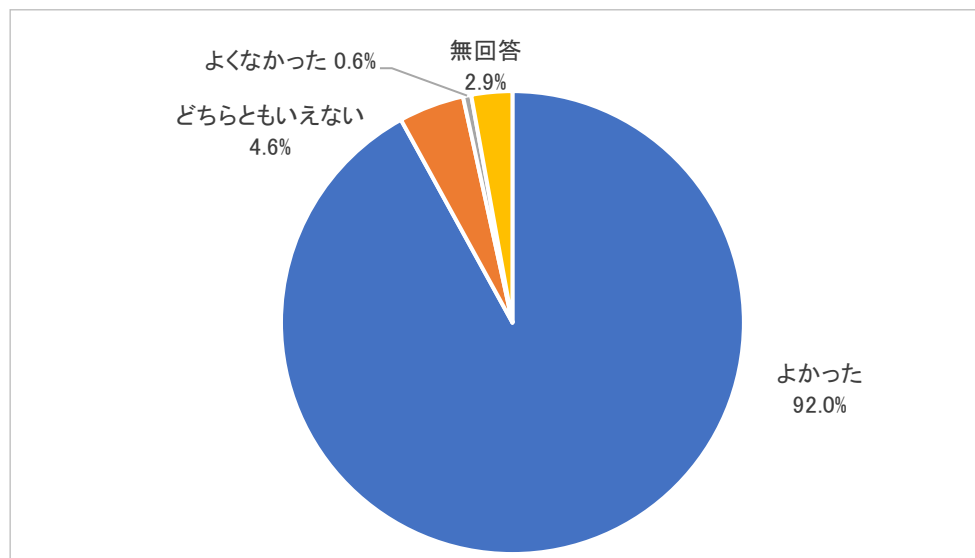
7 行政、加古川市のこと

①行政に期待すること



多くの人が複数選択しており、「日本の習慣、文化を学ぶ機会」「日本語教室」「日本人との交流イベント」「自国の言葉で受診できる医療機関」「災害時の多言語での情報発信」「自国の言葉で相談できる窓口」と回答した人が約半数以上いるなど、行政に大きく期待している様子が見てとれる。

②加古川市や日本への満足度



様々な生活上の課題はあるものの、総体的に日本国、加古川市への満足度は高くなっている。

## 自由記載欄意見(抜粋)

### 7 行政、加古川市のこと

#### ① 行政に期待すること

##### 「その他」の意見

- ・市内のバスの本数を増やしてほしい。
- ・家を借りやすくしてほしい。（外国人には家を貸さない不動産屋がある。）

#### ② 加古川市や日本への満足度

##### 「よかった」を選択した人の理由

- ・安全（治安がよい）で平和である。
- ・加古川はきれいで静かで住みやすい。
- ・人々が親切である。
- ・住むのに便利である。

##### 「どちらともいえない」を選択した人の理由

- ・加古川市では神戸市などと比べて外国人が少ないため、外国人の生活に対応したシステムが少ない。
- ・外国人への差別を感じたことがある。
- ・来日してよかったこともたくさんあったが、住むにつれ日本にも悪いところがあると気付いた。

##### 加古川市または日本についての自由意見

- ・明石市のように子どもへのサービスを充実させてほしい。
- ・言葉の壁のため健康診断や病院での治療を断られたことがあるので、大病院や警察、行政の窓口などで多言語対応できるスタッフをおいてほしい。
- ・子どもが日本で学校へ行くとなった場合、システムが分からないのでサポートしてほしい。
- ・生活や子育てを支援してくれる団体等があれば紹介してほしい。
- ・アルバイトを探すのが大変難しかった。日本人と外国人がお互いに交流したり、生活などを互いにサポートができたりするようになれば良いと思う。
- ・日本人にとって外国人が日本にやってくることは良いことなのか悪いことなのか知りたい。
- ・日本人と交流できる機会がもっとあればいいと思う。
- ・同じ母国出身の人を紹介してほしい。
- ・外国人のイレギュラーな要求にも柔軟に対応してほしい。
- ・政府が「マイナンバー」を導入するのであれば、もっと政府の機関へアクセスしやすくしペーパーレス化すべきだ。
- ・図書館に日本語の勉強ができる本が少ないので増やしてほしい。